

生きる力

SHINGON

特集

「仏さまに祈り

仏さまと出会う」

お盆にご先祖さまに祈る

より楽しく、
より読みやすく

一部誌面を
更新しました

生きる力 SHINGON

Vol. 121

智山 寺院探訪

宝珠山 修徳院

弘法大師福島八十八ヶ所霊場

五十九番札所



修徳院本堂

宝珠山 修徳院
〒970-0223
福島県いわき市
平薄磯字中街100
TEL : 0246-39-3138
FAX : 0246-39-3138

私たちは
震災を忘れない
——地域の人々の慰霊と復興の
思いが集まるお寺——



猪狩 弘崇
ご住職

薄磯海岸で、東日本大震災の被災者の御霊安らかならんことを願い、水塔婆供養が行われました。修徳院ご住職猪狩弘崇師に、冷たい水の中での供養は大変ですねとお声掛けをしたら、「被災者は当日この冷たい水に流されてしまったのだと思ったら、そんなこといってられません」と気丈にお答えくださいました。

震災から十四年を迎えて

いわき市薄磯地区は、十四年前の平成二十三年三月十一日、東日本大震災の津波に飲み込まれ、多くの犠牲者が出ました。修徳院では、その方々の慰霊法要が毎年行われています。修徳院はこの薄磯地区の慰霊を一手に引き受け、地域の人々とともに鎮魂の祈りをささげてきました。現在この慰霊法要は、薄磯地区が主催となり、真言宗智山派の福島第一教区（主に浜通りの寺院）の智山青年会（青年僧侶の会）が法要を取り仕切る形で続けられています。

この津波で修徳院も境内じゅうが津波に飲み込まれ、当時の先代住職も大変な被害に遭いました。一命はとりとめたものの、そ

ここは福島県いわき市薄磯地区。以前は夏になると、目の前に広がる薄磯海岸に、毎年数十万人の海水浴客が訪れる、そんな場所でした。柔らかな春の日差しが心地よく感じられる朝八時過ぎ、修徳院に到着しました。穏やかで物腰の柔らかな猪狩弘崇ご住職に迎えられ、今日一日の取材に改めて身が引き締まるのでした。



1



2



3



4



5



6

- 1 希望の灯は、神戸・淡路大震災の慰霊で灯されたあかりを、震災から三回忌にあたる平成25年に、神戸から徒歩でいわき市まで運んできたもので、鎮魂の灯は今も灯し続けられています。
- 2 いわき市の海岸での慰霊法要。今でも福島第一教区の青年会僧侶が交代で、月命日に供養の祈りを捧げています。
- 3 修徳院のご本尊さま金剛界大日如来。この地域の人々を見守ってくださっていると、被災者の御霊を慰霊し続けています。

- 4 東日本大震災薄磯地区殉難者慰霊法要。多くの僧侶による供養の読経が響きわたりました。
- 5 遺留品は地域の人々の思い出の品ではありますが、劣化が進み今後も大量の遺留品を保存し続けていくことが難しくなってきたこともあり、お焚き上げ供養をすることになりました。
- 6 修徳院の向かいに建つ薄磯地区被災者の慰霊碑。14年経った今でも、目頭を押さえながらお焼香する人の姿がありました。

続けられていく供養

お寺の建物も甚大な被害を受けていましたので、その年の百名に及ぶ新盆は、近くの葬儀場で合同法要の形をとりました。そのような状況でしたが次の年に一周忌法要ができることを目標に、何とか再建する目途を立てることができました。そして、一年後の三月十一日、未完全ではありましたが、再建された本堂で一周忌の慰霊法要を執り行うことができ、その後も毎年実施しています。

の後入院した病院で息を引き取られました。このような状況で仕事を引き継いだ弘栄師の心の内を、私たちは到底はかり知ることはできません。その思いを胸に秘めつつも、穏やかにご住職は震災から今までの修徳院について話してくださいました。

震災直後、この地区では津波で亡くなられた方が百名を数えましたが、瓦礫に埋もれた当寺ではそのご遺骨を預かることもできず、近隣の寺院に預かっていただきました。そういったなかで、散りぢりになったお檀家さんの居場所を確認しながらも、亡くなった方へお戒名を授け、供養をしてきました。私は、平日は教師、土日は住職として勤めていましたので、ご葬儀なども限られた日しかできませんでした。そこで、一度に数家のご葬儀、四十九日忌、一周忌、三回忌を行ったこともありました。

このほかにも毎月、福島第一教区の智山青年会の方々が交代しながら、いわき市の各海岸で、月命日の御霊の供養法要を行っています。今日も午前中、青年会長の楠法雄師を先頭に、まず、いわき

市平中央公園にある「希望の灯」での供養法要を皮切りに、いわき市の海岸を北と南に分かれて被災者の御霊の供養が執り行われました。

午後二時から修徳院本堂前にて、震災物故者の慰霊法要が執り行われ、多くの方が集い、供養の焼香を捧げました。その後、本年はいわき市の震災を伝承するために建てられた「いわき震災伝承みらい館」に保管されてきた被災者の遺留品をお焚き上げする法要も執り行いました。続けてこの地区の被災者の慰霊碑の前での供養法要、そして日も傾きかけた四時過ぎには、薄磯海岸で被災者を供養するための水塔婆（紙製の塔婆）を流し、丸一日かけて被災者の慰霊法要が執り行われたのでした。

震災を風化させない

薄磯地区の区長である鈴木幸長さんは、「この地区では津波で百名を超える方がお亡くなりになっています。その方々のご慰霊をこのように修徳院で毎年続けていただけることは大変ありがたいことです。さらには、この取り組みが地区の励みにもなっており、復興の手助けにもなっていると思います」とおっしゃっていました。そして震災から十四年を迎え、この地区も元の姿に戻りつつあるようです。慰霊法要後の区長のあいさつでは、「わたしたちを見守ってくださっている被災者の御霊への供養の意味を込めて、地区の皆が一体となって安心安全のまちを作っていきます」と誓っていました。

この一連の法要を取り仕切る青年会の楠会長は、「私たち僧侶それぞれが、誰にいわれるでもなく自分自身の役目として自然と供養の祈りをささげてこまでやってきました。そしてこれからもその思いは引き継がれていくことと思います」と、力強いお言葉でおっしゃっていました。

最後にご住職が法要後のあいさつで話した、「このように十四年、毎年鎮魂の祈りがささげられてきました。遺留品のお焚き上げなど思い出は少しずつ失われていってしまいましたが、だからこそ私たちはその思いを風化させることなく、伝え続けていくことが大切です」というお言葉が印象的でした。

修徳院は、震災の被災者の供養と地域の復興を心の面から支えるシンボルとして、これからもこの地域を見守っていく存在であり続けることでしょう。

（智山教化センター所員／倉松隆嗣 撮影／小川洋）



左から修徳院猪狩弘栄ご住職。薄磯地区鈴木幸長区長。楠法雄青年会長。



〈交通アクセス〉

JR常磐線いわき駅より車で約20分

今日の法語「怒れども
也た移さず」

法語解説

みとみ りょうせい

三富 良正(新潟県長岡市 南泉院中)

揮毫

あら い ごどう

荒井 悟道(東京都北区 豊榮寺住職)

怒れども
也た移さず

弘法大師空海さまが、大切な弟子を亡くした際、その方の人格を表しておっしゃった言葉です。怒りの心が湧いてきても、しっかりとその心を鎮めて他人を傷つけることのない、お弟子さまのお人柄が窺えます。

怒りを完全に抑えることは、誰も簡単にはできません。しかも怒りで攻撃すると相手からも怒りが返ってきて、終わりがありません。だからこそ心を鎮め、自分が本来もっている怒りに振り回されない仏さまの心を取り戻すことで、怒りに打ち勝つことができるのです。

誰にも仏心はあるのですから、早くそれに目覚め、本来の自分に帰りたいものです。

「仏さまに祈り」

仏さまと出会う」

お盆にご先祖さまに祈る

お盆にお供えする、キュウリとナスでつくられた精霊馬と精霊牛。「馬に乗って早く来てね、牛に乗ってゆっくり帰ってね」という気持ちの表れだといえます。ご先祖さまに早く会いたいという想いや、道中を気遣う様子がよく伝わってきます。 写真提供／PIXTA

ご先祖さまと過ごすお盆

「お盆とお正月ぐらいは帰ってきてね」

実家を離れ東京で一人暮らしをしていた頃、母から言われた言葉を今も覚えています。お盆に家族や親族が集まるという習慣はいつから始まったのでしょうか。お盆休み、という休暇も多く企業の期間に休みを取り帰省することは、日本独特の慣習です。

仏教の伝来とともに日本にもたらされたお盆。我が国の風土や習俗と混ざり合い、地域全体でご先祖さまを迎え、もてなし、いのちのつながりに感謝する日となりました。時期や様式などは地域によりさまざまですが、「ご先祖さまを丁重にお迎えし一緒に過ごす」という点は日本全国変わりがありません。

“私”のルーツ

何事にもルーツ（起源・根源）があります。音楽や美術などの芸術、学問や思想、産業や文化、現在私たちを取り囲むすべてのものに始まりがあり、歴史を経て今のすがたがあります。私たちの目には今しか映りませんが、その背後にあるルーツを探り歴史をひも解くことで今をより深く理解することができ、今の有り難さに気づきます。

私たちの「いのち」も例外なくルーツがあります。今を生きる私たちのいのちは、両親をはじめ数多のご先祖さまからいただいたご縁により存在しています。過去に生活していたご先祖さまたちもまた、そのご先祖さまからのちをいただき、廻りきれないほど、数えきれないほどのいのちが連なって、私たちへ今を届けています。「私」のルーツはご先祖さまであり、ご先祖さまたちが暮らしてきたその土地でもあります。

お盆に帰省しご先祖さまと過ごすことは、自分のルーツに立ち返り、ご先祖さまたちが連綿と紡いできたいのちの有り難い流れを感じ、感謝とともに菩提を祈る尊いひとときです。

ご先祖さまに祈る 仏さまに祈る

お仏壇やお墓の前で手を合わせると、先立たれたご家族の顔や声などが思い出とともに

阿字の子が
阿字のふるさと
立ち出でて
また立ち帰る
阿字のふるさと



「阿字観ご本尊」

弘法大師作と伝えられる短歌。
阿字とは大日如来のことで、
わたしたちのいのちは、大日
如来から生まれ、最後には大
日如来のもとへと帰っていき
ます。

に意識に流れ込み、心を和ませるとともに、
仏さまとして永遠に安らかでいてくださるよ
う祈る気持ちになります。同時に、私たちは
ご先祖さまに見守られていることを感じま
す。祖先を弔い、子孫の息災を願う、祈り祈
られる関係はいのちの始まりから今に至るま
で途切れることなく続いています。

ところで、「いのちの根源」とはどこにあ
るのでしょうか。宇宙に地球という惑星が誕生
し、大気が形成され雨が降り大地が固まり海
が広がりと…辿りはじめたらきりがなく、途
方もない歳月と物語を経て私たちにつながる
いのち。私たち真言宗では「いのちの根源」
を、根本本尊である「大日如来」という仏さ
まとしてとらえます。すべ

てのいのちは大日如来から
発生し、やがて仏さまの世
界である密厳浄土へ送ら
れ、また大日如来のもとへ

帰ります。私たちとご先祖さまは、大日如来
からいただいた「いのちの道」でつながって
います。私たちがご先祖さまの菩提を祈る
と、その祈りは「いのちの道」をつうじて大
日如来に届き、祈りに応え広大な智慧の光で
私たちをあたたかく照らしてください。

真言宗寺院のご本尊さま

みなさまの菩提寺や、ご祈願に訪れるお寺
ではさまざまな仏さまがお迎えしてくださ
います。実は、真言宗寺院のご本尊はひとつに
定められておりません。力強いお姿のお不動
さま、柔和な表情の観音さま、親しみを感じ



「胎蔵曼荼羅 (智積院蔵)」

真言宗の世界観を表現する曼荼羅。中央に位置する大日
如来をはじめ、さまざまな仏さまが描かれます。

るお地藏さまなど、いろいろな仏さまと出会うことができます。同じ真言宗のお寺でご本尊さまがまちまちなことに疑問を覚えることもあるでしょうが、種々の仏さまたちはみな、根本本尊である大日如来の広大な智慧の働きひとつひとつの顕現として、それぞれの姿を表しています。私たちとご先祖さまが大日如来からのいのちでつながっているように、各寺院のご本尊さまたちもまた、大日如来の一部なのです。お仏壇やお墓で手を合わせる祈りも、菩提寺での供養や所願成就のご祈禱も、ご先祖さまやそれぞれのご本尊さまを介し大日如来に集約され、ご利益を授けてくださいます。

仏さまに祈り 仏さまと出会う

忘れてはいけないのが、先に記したように私たちも大日如来とつながる仏さまの一部ということと、こちらの祈りに呼応するように私たちも仏さまに祈られ、護られているという事実です。ただ、普段の生活の中では自身と仏さまがつながっているという感覚はなかなか得ることができません。宗祖弘法大師空海さまは「からだ・ことば・こころ」の働きをととのえ、仏さまと重なる修行を深めればいずれこのことが実感できると説いておられます。そこで真言宗智山派では「わたしたち

わたしたちの目標
生きる力
仏さまに祈り
仏さまと出会う

ご本尊さまは 手を合わせるわたしたちを
いつも見守ってくださいます

真言宗智山派・総本山智積院

〒603-0951
京都市東山区東大路七条下ル東瓦町964番地
TEL 075-41-5381
ホームページ <https://www.chizan.or.jp/>

真言宗智山派が発行する「わたしたちの目標 生きる力—仏さまに祈り 仏さまと出会う」を伝えるポスター。わたしたちは、いつもやさしく見守ってくださる仏さまを想い、手を合わせることで、仏さまと出会うことができるのです。

の目標」として「生きる力—仏さまに祈り 仏さまと出会う」を掲げ、本宗寺院檀信徒やご縁のある皆さまに次のような実践を勧めています。

からだ：手を合わせましょう

ことば：お唱えしましょう

こころ：仏さまを想いましょう

具体的には、お仏壇で手を合わせご先祖さまを想いお勤めする、菩提寺や祈願寺で手を合わせご本尊さまのお名前やご真言をお唱え

して祈る、お大師さまを慕い手を合わせご宝号をお唱えする、などがあります。加えて、各寺院で開催される法要への参列や教化活動への参加も仏さまを感じる体験となります。

このような仏さまへの祈り続けることで、仏さまとのつながりやご加護を確かに感じることで、ご自身の内にいらっしやる仏さまに気づき、出会うことができます。

目次

智山寺院探訪 寶珠山 修徳院	2
今日の法語（三富良正・荒井悟道）	5
特集 「仏さまに祈り 仏さまと出会う」	
お盆にご先祖さまに祈る	6
よくわかる『智山勤行式』（佐々木大樹）	10
智積院の修行生活（長谷川優）	12
梵字よもやま話（小峰智行）	14
日本の四季を切り取る十七文字（星野高士）	15
十巻章－真言宗の教えを紐解く－（駒井信勝）	16
暦のおはなし（上村正健）	18
ごくらくらくご（三遊亭竜楽）	19
知っておきたい仏事 Q&A	20
読者アンケートから・おしらせ・編集後記	22
真言宗智山派出版物のご案内	23
寺院建築の心（菊池恭二）	24
総本山の便り	26
自と他の間にある利他（伊藤亜紗）	28
茶の歴史・文化を探る（土居雪松）	29
ビジュアルで読む秘蔵宝鑑（内藤理恵子）	30
グローバルサウス「インド」の今（山田真美）	31

有り難いのち 生きる力

私たちはたくさんいのちに支えられ、生かされています。「有り難い」という言葉はこのいのちを形容するための言葉だとさえ感じます。ご先祖さまに供養の念を捧げ感謝を伝えることも、大切な人の無事を祈ることも、有り難いいのちを輝かせる仏さまの働きに他なりません。そうして輝かせたいのちで、お互いを照らしあい、豊かな心を保つことで「生きる力」が育まれてゆきます。

「お盆には帰ってきてね」という思いは、遠く離れた家族だけでなく、時空を超えてご先祖さまへも向けられた願いです。年に一度のお盆、ご先祖さまをお迎えすることでのちの物語に想いを馳せ、その根源である仏さまを感じたとき、わたしたちもまた仏さまの一部であると気づくでしょう。

（智山教化センター所員／池田裕憲）

表紙

ライチョウと槍ヶ岳 富山県



北アルプス鷲羽岳の日の出の撮影を終え三俣山荘へ戻る途中、登山道の脇でただずむメスのライチョウを見かけた。背景に槍ヶ岳が入ることに気づき距離を取りながらこちら側を向くの待ち構え運よくその場面が撮れた。

P5

連なる山々 岐阜県



木曽御岳山から早朝、東側に広がる麓から遠くの間々までかすみによりそれぞれの稜線が際立ち重なりあう。夏山の清々しい青色山並みの姿が雄大に広がりどことなく日本画のような世界観がとても美しかった。

撮影・解説／大島隆義

平成十年十二月十六日第三種郵便物認可「生きる力SHINGON」第二十一号 令和七年六月一日発行 年四回(六月・九月・十二月・三月の一日) 発行 定価一〇〇円(税込)
発行人／三神栄法 編集／智山教化センター 発行所／〒605-0951 京都市東山区東大路七条下ル東瓦町九六四 総本山智積院内 真言宗智山派宗務庁

智積院会館のご案内

洋室や和洋室など多様なお部屋で快適にお過ごしいただけます
(1泊朝食付 ¥9,000～ 宿泊税・消費税込／夕食別途 ¥3,300～ 消費税込)。※時期により金額が変動することがございます。



和室A



和洋室A

世間の喧騒を離れて、400年前から変わらぬ、朝のお勤めへのご参拝、僧侶による名勝庭園や長谷川等伯一門の国宝の障壁画のご案内など、非日常をぜひご体験ください。



夕食 ¥5,500

※ご宿泊のご予約は、6ヶ月前の1日より開始いたします。



外観

お問い合わせ

宿坊 智積院会館
電話 075-541-5363

宿坊 智積院会館 HP ▶



ご予約は、お電話または智積院会館 HP から

京都 総本山智積院

〒605-0951 京都市東山区東大路七条下ル東瓦町 964
TEL: 075-541-5361 FAX: 075-541-5364

暁天講座

8月1日～2日 6時より(参加無料)

青葉まつり(兩祖大師誕生会)

6月15日 9時より



詳細はホームページをご確認ください。

智積院阿字観会(真言宗の瞑想)

毎月8日もしくは12日

14時より(受付13時より)

於 智積院旧宝物館

(御志納金千円・要事前申込 定員20名)

※7月より右記のとおり会場及び御志納金の変更となります。

写経のつどい(法話と般若心経写経)

毎月21日 13時より(受付12時より)

於 智積院金堂地下ホール

(納経料千円・要事前申込 定員60名)

東京 総本山智積院別院 真福寺

〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-8
TEL: 03-3431-1081 FAX: 03-3431-0203

愛宕薬師ご縁日護摩供法要

6月6日(金) 15時より

※別院真福寺大施餓鬼会法要

7月8日(火) 12時より

8月8日(金) 12時より

やすらぎ寄席

6月19日(木) 三遊亭

7月17日(木) 談志一門会

8月21日(木) 三遊亭

各日とも18時30分より

真福寺阿字観会

6月24日(火) 15時より

於 本堂

(無料・要事前申込・定員30名)

※7月・8月は開催無し。

Instagram



総本山智積院



宿坊智積院会館

Facebook



総本山智積院